枕草子

清少納言

　　　　五月の山里

　ばかりなどに山里にありく、いとかし。草葉も水もいと青く見えわたりたるに、はつれなくて、草りたるを、ながながと、たたざまに行けば、はえならざりける水の深くはあらねど、人などのあゆむに走りあがりたる、いとかし。

－30－